

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	KIZUNA 武蔵野		公表日	2025年4月30日	
	チェック項目	はい	いいえ/わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0		●高学年など体が大きいクラスは人数の調整や運動メニューなど、怪我や事故につながらないよう配慮して支援を行う。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置数は適切であるか。	10	0	●シフトの段階で適切に考えられている。 ●法令で定められている配置人数に加え、専門職員も多く配置し常に3～5人体制で支援にあたっている。	●急な体調不良や、感染症、夏季休暇等の際は他事業所からの応援等含め対応し、支援の質が落ちないようにしている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	●柱の角など危険な箇所にはクッション性の素材でカバーがされているなど、安全性の高い環境になっている。	●子どもの注意集中のため、飾りつけ等はなるべくせず極力シンプルな内装を心がける。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	●道具は整理整頓を心掛け、支援に使用する全ての道具をアルコール消毒している。 ●トイレや洗面台に子ども用の台を用意して必要に応じて活用している。	●今後も更に日々の清掃、整理整頓を意識し、職員も利用者様も心地よく過ごせる環境作りを職員ひとりひとりが心がけていく。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	3	●職員体制としては、気持ちの崩れた子どもに対してすぐに対応することができている。 ●運動フロアには、壁のあるクールダウンできるスペースはないので、他の運動中の子どもが気にしてしまうことはある。	●面談の予定が入っている際には個室を使用することができないため、必要に応じてパーティションの購入を検討し、活用していきたい。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	1	●職員間で意見を出しやすい環境づくりを心掛けている。 ●業務が効率的に進むよう日々職員間で役割分担等徹底している。	●業務改善について、目標設定と振り返りまではできていないため、今後は半年に1度など全体で目標設定と振り返りを行っていきたい。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	●保護者様からのご意見、ご要望を反映し職員間で話し合い、改善に努めている。	●今回の自己評価結果を4月末に公表する。 ●今後も保護者からの意向等を把握し、業務改善に努めていく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	●職員間での意見交換が活発に行われており、改善の余地がある部分については積極的に改善していく姿勢で取り組んでいる。	●日々の業務を効率化、支援の満足度を高められるよう、今後もミーティングや意見交換できる環境を整えていく。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	6		●今年度第三者評価を実施予定。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	●外部研修や法人内でも様々な研修を受講する機会がある。	●個人で受講する研修だけでなく、社内研修を継続して行い、職員が日々スキルアップしていける仕組みを整えていく。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	●ガイドラインの発達5領域や子どもの発達段階に合わせ、職員間で話し合い、適切に作成されている。	●ホームページに公表されている。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	●お子様や保護者様がどのようなことに困っているのか、支援すべきことは何なのか等、職員間で入念に話し合い、支援計画を作成している。	●今後も保護者のニーズや子どもの課題を適切に分析し、満足感を得られる支援を継続して行っていく。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	●児童発達支援管理責任者と、実際に支援に関わっている職員の共通理解の下、それぞれのお子様の発達段階に合わせた支援計画を作成している。	●主観的にならないよう、職員全員で5領域を念頭に作成していく。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	●必ず職員間で支援計画を確認、共有し計画に沿って日々の支援にあたっている。	●今後も来所児童全員の前回活動時の様子や配慮事項、プログラムの共有など入念に打ち合わせを必ず行っていく。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察など含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	2	●日々の行動観察からアセスメントを行い、各検査結果を共有していただくことで理解を深めて支援に活かしている。	●今後も専門職はじめ、日々の行動観察からアセスメントを行い、理解をより深めていく。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

	事業所名		公表日			
	KIZUNA 武蔵野		2025年4月30日			
適切な支援の提供	チェック項目	はい	いいえ/わからない	工夫している点	課題や改善すべき点	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1	●ガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に則した支援内容の、本人支援、家族支援などを踏まえてそれぞれのお子さまに適切な支援の優先順位をつけて具体的に支援計画を設定している。	●本人支援、家族支援を中心に、移行支援を必要に応じて行っている。 ●地域支援はまだ行っていない為、今後の課題となっている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	●日々の活動プログラムについて、複数名で立案し、意見を反映しあいながら行っている。	●プログラムの目的や子どもの様子に合わせて、臨機応変に対応できるよう、更にチームで連携を図っていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	●プログラムが固定化しないよう様々な運動プログラムを提供している。 ●楽しみながら次の学びへ繋がるよう日々工夫している。	●子どもの発達や課題に合わせ、苦手意識のあるものも自信へと繋がっていくよう今後も様々な知識やスキルを職員が身に付けていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	3	●状況やお子さまの課題等に応じ、ルールのある遊びなどを取り入れ皆で関りが持てるよう集団活動のプログラムも提供している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1	●支援開始前に必ずミーティングを行い、前回の活動内容や、様子、配慮事項、プログラムの共有・確認など行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	●支援終了後にも必ず、ひとりひとりのお子さまの様子など職員間で振り返り、今後の支援方針や具体的な手段について、積極的に話し合いが出来ている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1	●保護者様にサインをいただく書面に記録を取るとともに、データとしても打ち込んで残している。	●支援の記録に関しては、個々により基準があいまいな部分もあるため、職員間での行動の評価基準などミーティング等で明確にするよう努めている。
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	1	●ひとりひとりのお子さまの活動時の様子をモニタリングし、定期的な適切な支援計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	1	●課外活動や日々の支援で多種多様な経験を通して、子どもたちが自立、成長出来るよう工夫している。	●報酬改定後により意識して支援を行うよう努めているが地域交流の提供については今後検討していく。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	10	0	●子どもが活動に不安を感じた際などに、参加する以外の選択肢も挙げて選択を促している。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	●児童発達支援管理責任者と場合によっては指導員も参画している。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1	●保護者の意向を受け、学校によって、普段の学校での子どもの様子を見学させていただいたり、情報共有を積極的に行っていたり意見交換を行っている。	●今後も必要に応じて適宜連携を取って行く。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	2	●直接学校との情報共有はあまりないが、保護者様を通して様々な情報を共有している。	●送迎は行っていないが、大きなトラブル発生時等は必要に応じて学校とも情報の共有をしていく。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	3	●必要に応じて連携している。 ●移行支援として就学支援シートを作成し、相互理解に努めている。		
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	6	●今のところ、放課後等デイサービスを卒業し障害福祉サービスへ移行したお子様は居ないが、支援内容の情報を提供できる体制は整っている。		

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	KIZUNA 武蔵野	公表日	2025年4月30日
------	------------	-----	------------

		チェック項目	はい	いいえ/わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	1	●市の研修等に参加し、頂いたアドバイスを試したり、支援に活かしている。	●今後も助言やアドバイスを頂ける機会を積極的に設け、日々の支援に活かしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	8	●今のところそのような交流や、活動の機会は設けていない。	●必要に応じて法人で検討していく。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	6	●自立支援についての協議会などのつながりは無いが、放課後等デイサービス事業所連絡会は定期的に開催、参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	●毎回のフィードバックの際に、最近の家庭での様子なども伺いながら、今後の支援方針について、共通の理解を持った上で支援にあたっている。	●必要に応じてフィードバック時以外にも随時面談の時間を設けていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	6	●来所時や、フィードバック時にお話を伺い対応策等をお伝えしている。	●ペアレントトレーニングや研修会等の機会は設けていないので、今後必要に応じて開催を検討していく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1	●契約前に重要事項説明書の内容や契約書等、丁寧に説明し、確認いただいている。規約や規定を理解していただいた上で契約をするようにしている。 ●疑問点や質問があれば、その場で回答、解消できるよう努めている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	●保護者様のニーズの聞き取りはもちろん、お子様本人の気持ちや意思も尊重し、最適な支援計画を作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0	●提供すべき支援のねらい、5領域に基づき6か月に1回見直し作成、面談を行い、保護者様から同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	●特に専門的なアドバイスがほしい保護者に関しては、必要に応じて各専門職の指導員との面談や、情報共有の上アドバイスを行っている。	●フィードバックの時間だけでは足りない場合は必要に応じて他に面談の時間を設けて支援を行っている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	6		●現時点では保護者会等の開催はないが、保護者同士の相談の機会を設けてほしい等のご相談があった際には検討し開催していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	●苦情があった場合については職員全員が迅速に対応し、職員間や法人で共有、話し合いのもと、適切に対応できている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	6	●連絡ツールを活用し、活動概要や出欠の連絡等を行っている。	●今後、ホームページ上でも情報の発信を行い、周知していく。 ●SNSの活用は現在ないが必要に応じて、検討していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	●個人情報に記載された書類は鍵付きの棚に厳重に保管している。 ●事業所の事務所は外からは見えない内装となっている。	●PC等からの個人情報へのアクセスはパスワードを設定するなど今後検討していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	●障害に対する理解度に合わせて意思疎通や情報伝達するよう配慮している。	●文面や口頭のみでの説明にならないよう必要に応じて相違が生じないように努めていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	8		●現在行事やイベントは行ってないが今後検討していきたい。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		KIZUNA 武蔵野		公表日		2025年4月30日	
		チェック項目	はい	いいえ/わからない	工夫している点	課題や改善すべき点	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0		●マニュアルはあるが、訓練を全て実施する事はできていないので、今後徹底していく。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	●避難訓練やBCP研修といった研修を定期的に行い、非常事態の際の行動や役割を確認を行っている。	●避難訓練は毎年内容が似通ってしまうことが多いため、様々なケースを行うよう検討する。 ●BCPIに関しては、災害・感染症の研修を実施しており、全職員で共通理解を深めていきたい。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	●保護者様記載のシートにより把握している。また、必要に応じて聞き取りも行っている。		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	3	●食べ物の提供を行っていないが、アレルギーなどの配慮事項は毎回確認できるようにサービス提供記録等個人ファイルに記載している。		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1	●安全計画を作成し、日々の支援の中で安全管理、危機管理には職員間で連携を取り、必要な措置を講じている。		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1	●子どもの安全確保のため、どのような際にやむを得ず身体拘束を行うかについて等、保護者様に十分説明し了解を得ている。		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	●ヒヤリハットに関しては、毎月各職員1件以上挙げ、都度ミーティングの中で振り返り、再発防止策を検討している。		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	●虐待防止に関する研修は毎年定期的の実施し、日々の支援の中でも適切に対応している。 ●虐待防止に関わるセルフチェックも全職員に対して定期的の実施している。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	1	●事業所内に身体拘束を行う方針がないが、自傷他害の子どもがいた場合の対応策や、どのような際に身体拘束を行うかは契約時に保護者様に説明し、対象者がいる場合は支援計画に記載する。			